

市町村合併 町長の判断は



後迫哲矢議員

今まさに正念場を迎えた市町村合併問題を座談会やアンケート調査結果からどのように判断するのか町長の所見は。

曾於南部三ヶ町の合併は、なじまないと判断

町長

去る十月二十一日から町内五十五会場、一千三百六十七人の参加を得て座談会を開催し、アンケート調査を実施した。その結果は、曾於南部三ヶ町の合併を望む人、二十一・六%で残り七十八・

四%は、この枠組みを望んでいないということになる。又、七つの校区のうち五校区で合併をしないほうがよいと答えた人が多く、この二つのことから、「志布志町、有明町、大崎町」の三ヶ町の合併はなじまないと判断する。

どう進める合併問題

後迫議員

アンケート調査は、住民の最も重要な意思表示である。合併を町民の意思で決定するということを基本原則とするならば今後、合併問題をどのように対処するのか。別な枠組みか、町単独で

町長

曾於八ヶ町合併研究会や東串良町との協議を残している。三ヶ町の合併枠組みはなじまないと判断したことから、別の枠組みか、町単独の道を選択し、機が熟するまで単独で行くことも考えている。

大崎町の将来像についての考えは

後迫議員

大崎町の将来像を、過去の歴史やこれからの時代の変化、今回の合併推進の背景等から町長としてどう考えるか。

第五次総合計画や公約実現を目指す

町長

総合計画を基本に選挙

公約を重要政策として、自己決定、自己責任のもとで、地方分権時代の到来に対処して、豊かで住みよい町づくりを創造したい。

立小野小学校の特認校としての支援策を

後迫議員

立小野小学校は、小規模の特認校として、現在、校区以外から三名の児童

が就学している。通学手段が解決すると児童数が増えると思うが、その支援や平成十五年度の見通しはどうか。

平成十五年度も継続

教育長

教育委員会では、希望者があれば平成十五年度も特認校として認可を決定し、継続のために対処している。

児童送迎車運行の考えは

後迫議員

立小野小学校への就学を希望する児童が他にも五、六名いると聞か、送迎車の運行は考えないか。

自力通学で

教育長

子供に適した教育を受けさせたい意欲がある方に、学校を開放する主旨から、自力通学ができることを条件としているので、送迎車運行の考えは今のところない。

学校農園や美化・地域交流活動の助成は

後迫議員

立小野小学校は、学校農園や美化・地域交流活動など特に優れた活動をしている。そのため助成策は考えないか。

ふるさと支援事業で対処

教育長

現在、大崎町では、平成十二年度からふるさと教育支援事業を各学校で実施している。これらも、食農教育や体験学習・地域交流活動など支援していきたい。



立小野小学校